

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	VPd 4週
診療科名	血液・腫瘍内科
診療科責任者名	末永孝生
適応がん種	再発又は難治性の多発性骨髄腫
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	MM-021
登録日・更新日	2019年6月25日
削除日	
出典	Lancet Oncol. 2019; 20(4):30152-4 ボマリドミドカプセル添付文書
入力者	伊勢崎 竜也

投与順に記入(抗がん剤のみ)

No.	薬剤名: 一般名 (薬剤名: 商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	ボルテゾミド (ベルケイト注射用)	3mg	1.3mg/m ² *1	<input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CV <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他(皮下注)	-	day1,8,15,22
	生理食塩液	20mL				
No.2	ボマリドミド (ボマリドミドカプセル)	1mg, 2mg, 3mg, 4mg	4mg/body	<input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CV <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他(内服)	1回/日	day1-21
No.3	デキサメタゾン (レナデックス錠)	4mg	40mg/body	<input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CV <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他(内服)	1回/日	day1,8,15,22

1コースの期間	28日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能() ・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	<p>【中止・減量基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> 好中球数 500/μL未満に減少又は発熱性好中球減少症: 1,000/μL以上に回復するまでボマリドミドを休業し、再開は休業前の投与量から1mg減量すること。 血小板数 25,000/μL未満に減少: 50,000/μL以上に回復するまでボマリドミドを休業し、再開は休業前の投与量から1mg減量すること。 皮疹 Grade 3 : Grade 1 以下に回復するまでボマリドミドを休業し、再開は休業前の投与量から1mg減量すること。 なお再開は、患者の状態に応じて判断すること。 Grade 4 又は水疱形成 : ボマリドミドの投与を中止すること。 その他の副作用 Grade 3 又は 4 : Grade 2 以下に回復するまで本剤を休業し、再開は休業前の投与量から1mg減量すること。 なお再開は、患者の状態に応じて判断すること。 <p>◆ボルテゾミドの減量目安 開始用量 : 1.3mg/m² ステップ1(1段階減量) : 1.0mg/m² ステップ2(2段階減量) : 0.7mg/m² ステップ3 : 投与中止</p> <p>◆ボマリドミドの用量調節の目安 4 mg 1段階目 3 mg 2段階目 2 mg 3段階目 1 mg 4段階目 中止</p> <p>◆デキサメタゾンの用量調節の目安 20mg 1段階目 12mg 2段階目 4mg 3段階目 中止</p>
前投薬	
その他の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ボマリドミド投与期間中は、深部静脈血栓症予防のアスピリン、抗凝固薬等を投与する。 帯状疱疹の予防として、アシクロビル又はバラシクロビルおよび抗生剤(ST合剤等)を投与する。 デキサメタゾンの用量は75歳を超える患者には20mg/bodyとする。 レナリドミドを含むレジメンの治療歴のある患者に限定して使用する。 メンテナンスの症例に対して使用する。

記入者	伊勢崎 竜也
確認者	竹内 正美